



人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来

YOSANO

広報よさの

No.206



4
2023

目次 CONTENTS

- 4 【特集】与謝野町の教育
- 10 下水道使用料金、農業集落排水施設使用料、くみ取り手数料の改定
- 12 協働のまちづくり調査事業7
- 14 よさのみらい大学講座レポート
- 16 ALT リレーコラム / 時の贈り物 / 図書館
- 18 わたしはココにいます!!
- 20 織物技能訓練センター
織物業に関する支援のご案内
- 22 町政 News&Information
 - ・与謝野町クラウドファンディング型ふるさと納税活用事業の募集
 - ・宮津与謝環境組合からのお知らせ
 - ・功績功労をたたえて など
- 26 お知らせページ

今月の表紙 COVER PHOTO

3月23日、町内の6つの小学校で卒業証書授与式が行われました。岩滝小学校では45人の児童が卒業。着物や羽織はかま、中学校の制服などをまとった児童たちは、少し緊張した面持ちで校長先生から卒業証書を受け取る姿が印象的でした。



⑥



⑤



②



①



⑧



⑦



④



③

①校長先生から卒業証書を受け取る卒業生（宮津天橋高校） ②校長先生から卒業証書を受け取る卒業生（橋立中） ③保護者から花を受け取る卒園児（かえでこども園） ④答辞を述べる生徒（宮津天橋高校） ⑤かわいく飾り付けられた髪飾り（岩滝小） ⑥「卒業の歌」を歌う卒業生たち（橋立中） ⑦卒業証書を手に退場する卒業生たち（橋立中） ⑧各校の卒業生に贈られた町長の式辞 ⑨卒業式に花を添えた吹奏楽部の演奏（宮津天橋高校） ⑩答辞を述べる生徒（橋立中） ⑪元気づく「卒園の歌」を歌う卒園児たち（かえでこども園）

●宮津天橋高校卒業式、小・中学校卒業式、こども園終了証書授与式、保育所退所式

未来を担う子どもたち、笑顔で踏み出す明日への1歩。

別れの季節、3月——。町内の府立高校、小・中学校、こども園・保育所において、※約700人の生徒・児童・園児たちが学び舎を巣立ちました。

3月1日、府立宮津天橋高校では、加悦谷学舎において卒業式が行われ、第1期生233人（加悦谷学舎77人、宮津学舎156人）が卒業。卒業する3年生は、入学当初から新型コロナウイルス感染症の影響で勉学や部活動などに制限がある中、宮津天橋高校の第1期生として加悦谷・宮津高校の伝統と歴史を受け継ぎ、新たな歴史を刻んできました。

式典では同校の吹奏楽部の演奏に合わせて、卒業生は少し緊張しながらも晴れ晴れとした表情で入場。深田聡校長は式辞で「高校で育んできた力を自分のためだけでなく、社会の形成のためにも役立ててほしい」とはなむけの言葉を贈られました。

3月16日に行われた与謝野町宮津市中学校組合立橋立中学校の卒業式では、73人の生徒が卒業しました。卒業生たちは、一人ずつ校長先生から卒業証書を手渡されたのち、すばらしい歌声を披露。会場には、その歌声に感動の涙を流す方々の姿が見られました。

3月23日に行われた小学校の卒業式では、多くの女子児童たちが恒例となった桜色の着物と紫色のはかま姿で参加。岩滝小学校では、45人の児童たちが6年間の思い出や育ててくれた方への感謝の気持ちを伝え、中学生への一歩を踏み出しました。

3月28日には、こども園と保育所で、それぞれ修了証書授与式と退所式を開催。かえでこども園では、38人の園児たちに園長から一人ずつ修了証書が手渡され、少し照れながらも元気づく保護者に向けて修了証書を見せていました。

※ 橋立中学校の宮津市在住および宮津天橋高校の町外在住を含む



⑪



⑩



⑨

1 各校（園）での特色ある学校づくり

■学校教育課 ☎ 43-9025
■子育て応援課 ☎ 43-9024

令和4年度の各校（園）の取り組みを紹介します。

●加悦中学校

生徒会「花植えボランティア」の取り組み

生徒会役員を中心に、春と秋の2回、花植えボランティアの取り組みを進めています。令和4年度はK.S.S.C（加悦中学校スクールサポート協議会）のご協力も得ながら、プランターや敷地内の花壇づくりに取り組みました。これからも心と環境づくりに努めていきます。



●橋立中学校

「ふるさと」に目を向けて…

「ふるさと俳句」と「ふるさと発信」が本校の2つの柱です。その一環として地域にお住まいの方を講師として招き、俳句教室を開催しました。1年生にとっては、本格的な俳句の学習は初めてとなりますが、なかなか味のある作品を作ることができました。昨年の12月には、保護者にも投句していただき作品の鑑賞会を行いました。優秀な作品として選ばれたものは、懸垂幕を作成してグラウンド横に掲出します。



●江陽中学校

コミュニケーション能力の向上をめざした取り組み 「Brush Up Our Communication Skills」

コミュニケーション能力の向上をめざした取り組み「Brush Up Our Communication Skills」を進めています。エフエム京都（α-STATION）からキャスターを招き、「伝わるように伝える」ということの大切さを教えていただきました。普段、生徒たちが発表する場面でも言葉を吟味し、「表現」にこだわった内容で自分の思いが伝わるよう意識して活動を行っています。



●加悦小学校

仲間と学び合うことを通して、自らの学びに生かそう

再編3年目。人とのつながりを大切にしながら教育活動を進めています。毎学期行っている全校SST（ソーシャルスキルトレーニング）では、「気持ちのよいあいさつと返事」「友達の話上手に聴こう」「あたたかいメッセージを伝え合おう」という内容で、言葉を通して思いを伝え合い、児童を育てています。



与謝野町の教育

～明日の人材を育てる教育文化のまちづくり～



旧加悦鉄道車両車庫新設等工事落成式の様子（令和4年4月13日）

近代化のシンボルであった旧加悦鉄道は、昭和元年（1926）から昭和60年（1985）まで、加悦谷地域のヒト・モノの移動を支えてきました。加悦SL広場の閉園に伴い、多数ある車両の中から123号機関車（旧加悦鉄道2号機関車）を含む3車両を与謝野町が譲り受けました。今後は、与謝野町文化財保存活用地域計画（令和4年7月22日に文化庁認定）に則して、123号機関車をはじめとした文化財の保護行政の推進に努めていきます。

与謝野町が目指す未来像は「人・自然・伝統 与謝野で織りなす新たな未来」です。この新たな未来とは、22世紀を生きる子どもたちの未来であり、人生100年時代を生きる私たちの未来です。そして、この未来社会は、人工知能が驚異的な進化を遂げ、Society 5.0と称される超スマート社会であり、私たちの想像を遥かに超える社会とされています。

教育の最終的な目標は、「一人ひとりと社会全体の幸福実現に資すること」と思っています。幸福になるためには、社会をより良く生きるための知識や技術、そして確かな人権意識が当たり前のこととして必要です。さらに、人としての豊かな創造力、絆を強めるコミュニケーション・スキルやレジリエンス（回復力・しなやかさ）などが、今以上に重要になると考えられます。

与謝野町、教育委員会、組合教育委員会の「新たな未来」を織りなす活力ある人や、地域を創る魅力ある取り組みをご覧ください。

与謝野町教育委員会
教育長 長島 雅彦

●つばきこども園

いっぱい遊ぼう！ 笑顔ひろがる つばきっず

開園して1年がたち、新しい友達との間に仲間意識も芽生え始めています。上記テーマのもと、安心・安全な保育環境、また、さまざまな体験活動ができるよう環境を整えています。一人ひとりに寄り添う温かな関わりのもと、豊かな自然の中で生活や遊びを充実させ、夢中になって遊ぶ園児の育成をめざしています。新しい地域の中に根づく笑顔いっぱいのこども園になるよう活動を進めます。



●かえでこども園

豊かな環境の中でつながりながら
夢中になって遊び込む子どもをめざして

子ども一人ひとりを温かく見守り、その子らしさを受け止めながら、子ども主体の保育を心掛けています。子どもたちの心ときめく、心動かす体験や経験活動を大切に捉え、五感を通した直接体験の中から、探究心や好奇心、人とつながる喜びや楽しさ、たくましい身体と豊かな心を育てていきます。



●のだがわこども園

もっとやりたい、こうしてみたいと思うことを
実現するために

試行錯誤を繰り返しながら上記の実現をめざし、活動しています。分からないことを知りたいと思って自ら調べてみたり、分かったことを友達や先生に伝えたいと思ったりすることで、主体的な活動や人とのつながりを育てています。また、毎日の生活の中で、異年齢での関わりも広がり、小さい友達に優しく関わったり教えてあげたりすることで、頼られることがうれしく自信につながっています。



2 園小中連携の取り組みについて

加悦・江陽・橋立中学校校区では小中連携はもとより、こども園、保育所などと小学校との円滑な接続を図り、子どもの育ちをしっかりと支援する体制づくりを重視しています。幼児期に育むことが重要とされる「学びの芽」は遊びの中で生まれ、「非認知能力」という言葉で取り上げられることもあります。非認知能力は、コミュニケーション能力や自尊心、社会性などを含み、学業や仕事など子どもの将来にも影響すると言われてしています。大人が寄り添い、

見守り、認めたり励ましたりすることはもちろんのこと、子どもの何気ない気づきや発見、驚きを一緒に感動するなど、子どもの思いや行為を価値づけることで学びの芽は育まれます。

園での遊びの中にどんな学びの芽が育っているか、家庭でのどんな場面に学びの芽があるか、教育・保育と家庭での関わりが両輪となって、明日を担う子どもたちと一緒に育むことが大切です。



●岩滝小学校

意欲を高め、主体的・対話的な学習を通して
学び合い伝え合う授業づくり

令和4年度から算数科を重点教科とし自分の考えを伝え合い、学ぶ楽しさを感じながら課題解決していく「課題解決型学習の研究」を進めています。単元や授業の導入を工夫することで児童の意欲を高め、児童が学習課題を自分ごととして捉え、互いに自分の意見や考えを相手に伝えるように表現できる力の育成をめざしています。



●三河内小学校

気づきを行動につなげ、生き生きと学ぶ子どもをめざして

週に1回「みごっこタイム」として、遠望視や本校独自のストレッチを行っています。健康や安全に対する関心を高め、課題に気づき解決に向けて取り組んでいく自己決定の過程を大切にしています。楽しい活動を取り入れながら健やかな体の維持・向上をめざしています。



●市場小学校

よく考え、自ら学ぶことを楽しむ児童の育成

「もっとやってみたい」意欲を引き出す授業をめざしています。児童が主体的に活動できる場面を計画的に組み込んでいます。タブレット端末を個々の気づきや考えを広げたりつないだりする道具として、楽しみながら使っています。



●山田小学校

話と輪（わわわ）集会

月に1度、各児童委員会が主催する話と輪集会では、委員会が考えた企画とみんなが心穏やかに輪になって何でも話せるトークタイムの時間をもっています。放送委員会や図書委員会、給食委員会の取り組みなど、ワクワクを共有することで77人のつながりが深まります。



●石川小学校

人との関わりの中で成長しています

令和4年度は感染対策を十分に行った上で、いろいろな方との関わりを大切にしています。地域の方から昔の遊びやお琴、習字などを教えていただいたり、稲作体験や有機農法の見学、石川うどん体験を行ったりして地域のよさを改めて実感することができました。また、宮津天橋高校加悦谷学舎生徒とのスポーツ交流や遊びの交流を通して、自分の将来像を描く機会にもなりました。



3 スポーツを通じた成長を応援します

(1) 町民一人ひとりが年齢や適性に応じて生涯に渡ってスポーツに親しめる環境整備に取り組み、健康で生き生きとした生活を送ることができる充実した生涯スポーツ社会の実現に努めます。



ニユースポーツ「ボッチャ」

いきいきウォーキング

(2) あらゆる方々がスポーツを通して、心身の健康、町内外の交流、競技力の向上が図れるように、さまざまな事業に取り組みます。

- ・ 総合型地域スポーツクラブへの支援
- ・ 障害者スポーツへの支援
- ・ 町民へのスポーツ指導、研修会の開催 など
- ・ スポーツ協会およびジュニアスポーツ連絡協議会
- ・ いきいきウォーキングの実施

(3) 関係団体と連携しながらスポーツ事業の推進に取り組みます。

- ・ よさの大江山登山マラソン大会
- ・ 与謝野町駅伝競走大会
- ・ 各種スポーツ大会 など



3年ぶりの開催となった登山マラソン

4 文化財の調査・研究、保存、活用をします

(1) 多様な分野の文化財の調査・研究を行い、新たな知見で地域の歴史文化をひも解きます。

- ・ 遺跡調査
- ・ 民俗調査
- ・ 文献資料調査
- ・ 建物調査
- ・ 伝承伝説調査
- ・ 美術工芸品調査 など

(2) 文化財的な価値の高いものは後世に受け継ぐため、文化財指定などを進め保存します。



重要伝統的建造物群保存地区の修理・修景補助事業



「滝のつばき」の樹勢回復事業

(3) 歴史的建物や史跡など文化財を整備活用し、地域の歴史文化を学ぶ機会を提供します。

- ・ 与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区（加悦：国選定重伝建、通称「ちりめん街道」）
- ・ 地藏山遺跡（幾地：京都府指定史跡）
- ・ 情報発信や学習会 など

(4) 文化財の保存・活用の指針「与謝野町文化財保存活用地域計画」を推進します。

1 子どもたちが健やかに育ち、学び続ける地域社会をめざします

■ 社会教育課 ☎ 43-9026

(1) 青少年育成会の活動や公民館での活動を通し、学校教育と連携しながら子どもたちの健全育成に努めます。

- ・ 青少年育成会での活動（子ども発表会 など）
- ・ 公民館における青少年健全育成の取り組み

(2) 子どもたちにさまざまな体験活動の場を提供するとともに、学習活動への支援を行います。

- ・ 放課後学習支援事業、イングリッシュキャンプ など

(3) 地域の方などによる学校活動への支援を応援します。

- ・ 高校魅力化推進事業の取り組み
- ・ コミュニティ・スクールの取り組み
- ・ 地域学校協働活動事業の取り組み



上/年長児を対象に開催した人形劇
下/高校・小学校とのスポーツ交流

2 さまざまな「まなび」や文化活動を進めます

(1) 誰にとっても身近で大切な「人権」について学習を深めていきます。

- ・ 人権問題を考える集いの開催
- ・ 標語、ポスター、作文の募集
- ・ 公民館における人権講座の開催 など

(2) 図書資料のさらなる充実をめざすとともに、絵本の読み聞かせやブックスタートなど、本に親しむ活動にも取り組みます。

- ・ 絵本の読み聞かせの実施
- ・ 図書資料の充実
- ・ 北部7市町連携により図書館利用カードの発行範囲を拡大 など

(3) 生涯のさまざまな場面における学習を支援するとともに、文化の薫りあふれる町をめざします。

- ・ 公民館活動の推進
- ・ 生涯学習講座の開催
- ・ 文化協会への支援、音楽祭などの開催
- ・ 高齢者、障害者教育の充実 など

(4) 地域ゆかりの与謝蕪村や与謝野鉄幹・晶子への理解を深め、郷土への誇りを醸成します。

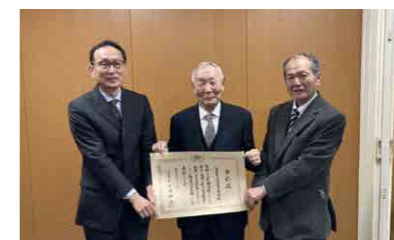
- ・ 蕪村顕彰全国俳句大会の開催
- ・ 小中高などでの俳句教室の開催
- ・ 令和の Buson 俳句大賞の実施
- ・ 江山文庫の運営 など



平和の大切さを学んだ人権講演会
(写真左が講師 ※ 講演会資料より)



3年ぶりに開催した文化祭



優良公民館表彰を受賞した三河内地区公民館



江山文庫を訪問する小学生たち

使用水量別比較表 (1ヵ月、税込み)

使用量	現行料金	改定後料金	増加額
8 m ³	1,315円	1,485円	170円
10 m ³	1,425円	1,617円	192円
20 m ³	2,954円	3,355円	401円
30 m ³	4,582円	5,203円	621円
40 m ³	6,320円	7,183円	863円
50 m ³	8,113円	9,218円	1,105円
100 m ³	17,573円	19,943円	2,370円
200 m ³	37,593円	42,713円	5,120円
500 m ³	97,653円	111,023円	13,370円
1,000 m ³	197,753円	224,873円	27,120円
2,000 m ³	397,953円	452,573円	54,620円

一般的なご家庭の場合

(使用量 20 m³/月)

2,954円 → 3,355円
(401円の増)

※ 6月使用分 (7月請求分) から

福祉減免制度の創設
上下水道使用料の料金改定にあたり、生活困窮者と生活弱者の方への配慮として、公共下水道使用料・農業集落排水処理施設使用料の一部を減免する制度を創設します。対象者などの制度の詳細は、次号以降にお知らせします。

令和5年6月使用分から
下水道使用料を改定します。



2月15日に招集された与謝野町議会2月臨時会において、「公共下水道使用料条例の一部改正」などが可決されました。この改正により、6月1日からの下水道使用料および農業集落排水施設使用料について、平均13・1%の値上げをさせていただきます。町民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

問 上下水道課 ☎ 43-9031

住環境の向上につながる下水道

下水道事業は、トイレの水洗化や生活雑排水の側溝への放流をなくし悪臭の防止と衛生面を向上させ、町民の皆さまの住環境の向上に役立っています。また、トイレの水洗化は、国際連合が定めた「SDGs (持続可能な開発目標)」の6番目「安全な水とトイレを世界中に」として掲げられています。

審議会からの答申

使用料改定にあたり、与謝野町上下水道審議会に対し「持続可能な上下水道事業及び農業集落排水事業の経営基盤をつくるための料金改定について」の諮問を行い、同審議会から令和2年12月に「水道料金・下水道料金及び農業集落排水施設使用料の改定」の答申を受けました。内容は、「公営企業における受益者負担の原則のもと、使用料の水

準について検討した結果、京都府流域下水道事業に支払う排水負担金と同等の水準とすることが、妥当であるとの結論に至った(一部抜粋)というものでした。
答申(町ホームページ)

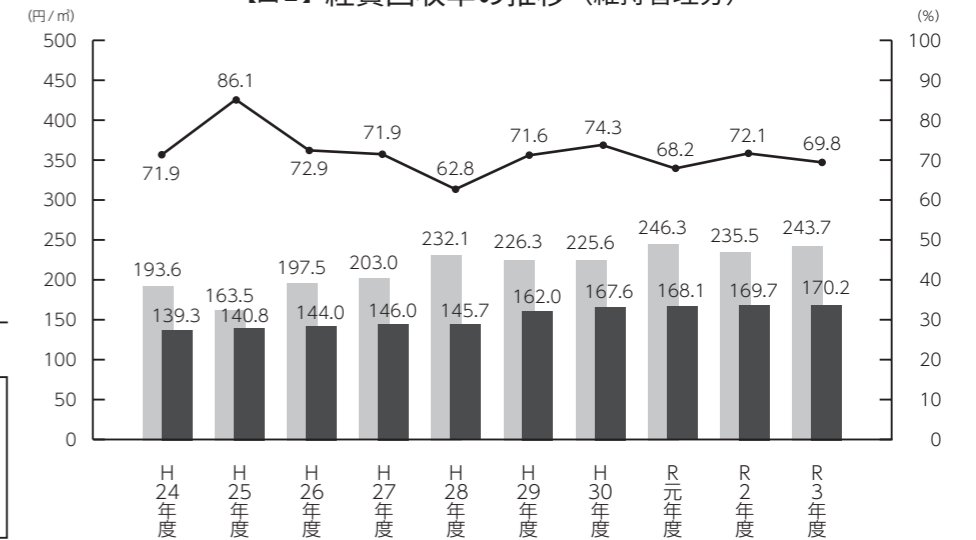


持続可能な下水道事業を目指して

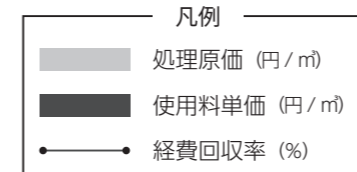
下水道事業は、公営企業として独立採算での運営が求められています。現在の経営状況は、一般会計が負担すべき費用を除いて、必要な費用の7割弱しか下水道使用料で賄えていません(図1)「経費回収率の推移」を参照。

将来世代に下水道事業をつないでいくためには、汚水処理に必要な費用など、ご負担いただくべき費用は、使用者の皆さまにご負担いただくよう段階的に値上げするとともに、適切な維持管理を行うなど、能率的で持続可能な下水道事業の構築をめざします。

【図1】経費回収率の推移(維持管理分)



「経費回収率」とは？
使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標のことで、使用料水準などを評価することが可能です。



令和5年6月1日から
くみ取り手数料を改定します。

2月15日に招集された与謝野町議会2月臨時会において、「与謝野町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について」が可決されました。この改定により、基本料金と超過料金をそれぞれ値上げさせていただきます。町民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

問 衛生プラント ☎ 42・2242

野田川衛生プラントの事業収支は、人口減少および公共下水道の普及に伴うくみ取り量の減少等により、年々赤字額が増大している現状です。今後も事業を継続していくため、6月1日以降のくみ取り分から、くみ取り手数料を下表のとおり値上げさせていただきます。なお、浄化槽清掃業者による浄化槽汚泥を処理した場合の施設使用料も、同日から値上げとなります。

項目	現行	改定
基本料金	180 ℓまで 1,620円	180 ℓまで 1,836円
超過料金	1 ℓごとに9円 ずつ加算	1 ℓごとに10.2円 ずつ加算

※ 引き続き、くみ取り時に必要最低限の水の使用にご理解をお願いします

— 手数料改定後のお支払い額 —

《例》くみ取り量 236 ℓ
【基本料金 (A)】180 ℓまで 1,836円
【超過料金 (B)】180 ℓを超えた 56 ℓ × 10.2円 = 571円 (1円未満切り捨て)
【請求額】2,407円 (A + B)

人のつながりを 育んだ3年間

2月26日、知遊館において、「協働のまちづくり調査事業 事業報告会」を開催しました。調査事業実施4団体（金屋地域づくり推進委員会、三河内の将来像を考える会、100年暮らしが繋がる地域づくり推進委員会、四辻区）から、3年間の取り組みを報告いただくとともに、町内各區・各地区公民館から参加いただいた皆さんで、対話・地域間交流を行いました。 企画財政課 ☎43・9015



左から報告する山崎さん（四辻区）、谷川さん（金屋区）

めざす姿の実現に向けて

協働のまちづくり調査事業は、地域の課題解決に取り組んでいくための「持続可能な仕組み」「地域と行政との協働のあり方」、10年後、20年後を見据えた「地域の未来」を考えることを目的に4地区で実施。京都府の伴走支援も受けながら、各地区のめざす姿の実現に向けて一緒に取り組んできました。

4地区の事業報告

●金屋区【金屋地域づくり推進委員会（愛称/かがやけ金屋人）】
「金屋地区公民館が老若男女を問わず憩いの場となり、公民館からいろいろなお知らせが発信できる場にする」をめざし活動してきました。
高校生以上を対象とした区民アンケートの実施や、かがやけ金屋人ミーティングを重ね、地区公民館を中心とした地域活性化と情報発信に

ついて検討。令和4年度には、実証事業「公民館へ行こう！」や、よさのみらいトーク内に区ホームページの開設をしました。



「金屋公民館へ行こう！」で実施した新鮮野菜やリユース品の販売

●三河内区【三河内の将来像を考える会】
「豊かな三河内地域社会を実現するために、地域内の人間関係を豊かにし、地域社会に役立つ人材を育成する」をめざし活動してきました。次世代の人材育成に焦点を当て、

三河内の自然、歴史、文化、産業などの現状と課題を知る講座やフィールドワークを実施。令和4年度には、地域の人材育成を担う持続可能な組織「三河内未来塾」を設立しました。令和5年度は、公民館事業として活動を継承していく予定です。

●岩屋区【100年暮らしが繋がる地域づくり推進委員会（通称/100フレ）】
「100年後（3世代先）も豊かで安心・安全な暮らしが繋がる地域」をめざし活動してきました。
中学生以上を対象とした区民アンケートで、地域での暮らしに対する不安感が高かったことから、区民の幸福度が上がる取り組みを検討。100フレだよりの発行やごみを拾って岩屋ぐるり旅の実施、区フェイスブックページでの情報発信など、世代間・団体間交流の機会を創出しました。令和4年度に



左から報告する千賀さん（三河内区）、石田さん（岩屋区）



グループワークの様子

は、区民からのアイデアで、LINEを活用した「デジタル回覧板」の実証事業を実施しました。



岩屋区公式LINEのトップページ

●四辻区

「地域の実状や時代に即した自治会組織として、女性なども参加しやすい体制を整え、区・区民・区内の各種団体がそれぞれの役割により、地域課題に取り組める持続可能な区の運営、自治会活動を進める」をめざし活動してきました。
具体的には、区の規約改正や空き家調査、区の広報誌「四辻たより」を隔月に発行して、区内外へ積極的に情報発信しています。令和4年度には、区ホームページを開設。地域の動きを見える化し、より親近感のある自治会をめざした取り組みを展開しています。



みんなで進める地域づくり

3年間を振り返っての事業報告と参加者同士の対話・地域間交流から、地域が抱えるさまざまな課題と多くの気づきを、地域と行政の間で共有できました。これらさまざまな課題に対してどのように取り組むのか、

安心・安全で住みやすい持続可能な地域とは何かなど、将来の望ましい地域のあり方について地域と行政との対話の中でめざすべき地域協働のかたちを見出し、ともに手を取り合い、みんなの手で未来の地域づくりをスタートしていきます。

「対話から豊かな関係をつくる協働のまちづくり」

福知山公立大学地域経営学部教授 谷口知弘氏

人間関係が希薄化すると、住民自治機能が低下します。財政的にも質的にも限界があり、行政も無い袖はふれません。一方で、自治会や公民館、活動団体の力がないと楽しい地域、豊かな地域をつくっていくこともできません。

り、開いていくのが重要です。4地区の取り組みを通した人の豊かなつながりが、この3年間でたくさん育ったのではないのでしょうか。地域にまだ埋もれている人を地域社会とつなげ、人のつながりをつくり育て、安心して話し合いながら、地域内の豊かなつながりを築かれることを願っています。

そこで重要になってくるのが、自助・共助、協働です。協働では、行政が中心となったかたちのほか、課題に必要なさまざまな主体と一緒に連携するマルチパートナーシップというかたちもでてきました。一人ひとりの地域への思いはあるけど、実践に向けた一歩を踏み出すきっかけがないという話はよくあります。地域と関わる入口をどのようにつく



基調講演をする谷口氏

「消防団」ってなあに??

与謝野町には10の分団があり、火災などの有事に備えた訓練と、町民の皆さんに防火意識を持ってもらう防火広報活動を行っています。しかし、消防団を取り巻く環境は年々厳しくなっており、団員の確保が困難になってきています。今月号では、消防団や活動内容についてお知らせします。

Q1. 消防団って？

消防団は、消防組織法に基づき全国の各市町村に設置されている組織です。その構成員である消防団員は、他に本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自らで守る」という精神で、消防防災活動を行っています。

Q2. 消防団と消防署との違いは？

消防署は「常備の機関」であり、火災出動はもちろんのこと、救急車での救急・搬送業務、またはその他の災害時における対応をしています。消防団は「非常備の消防機関」として火災等の災害時に消防署と協力して活動を行い、平常時にも火災予防・防災活動などを行っています。

Q3. 消防団員の身分はどうなるの？

非常勤特別職の地方公務員となります。条例に基づき報酬と出動手当が支給されます。また、活動中にケガなどをした場合は、公務災害補償の対象となります。



第9分団のポンプ車操作法（第28回京都府消防操法大会）

Q4. 消防団員になるための資格ってあるの？

特別な資格はいりません。町内に居住しているまたは勤務している方で、年齢が18歳以上の健康な方なら大丈夫です。男女は問いません。与謝野町消防団でも「ひまわりふれあい隊」として女性団員が活躍しています。

Q5. 消防団の活動内容って？

火災発生時の消火活動はもちろん、地震や風水害などの大規模災害時の救助、救出、警戒巡視、避難誘導、災害防御にあたります。平常時は、消防訓練や防火広報活動などを行っています。また、消火訓練技術を披露する消防操法大会も行われます。このほかに、ひまわりふれあい隊による啓発活動も行っています。

Q6. 仕事と消防団活動は両立できるの？

現団員の中にも夜勤や残業の多い方はいますが、出られる範囲で消防団活動に参加しているのが現状です。仕事などさげられない用事があればやむを得ませんし、その場合に参加を強要することもしません。

消防団について不明な点などは、総務課防災危機管理対策室（☎43-9011 / 役場野田川庁舎）へ。

各講座の開催レポートはよさの未来大学ホームページからご覧ください



令和4年度のよさの未来大学は「リベラルアーツコース」「地域づくり学部」「ビジネス学部」において、全8講座・コースを開講。延べ180人を超える方が受講し、自身の知識を深めたり新たな気づきを得る機会になりました。今月号では2・3月に開催した講座の内容をお知らせします。 ☎ 企画財政課 ☎ 43-9015



イベント開催の様子

【受講生の感想】

大人とじっくり話せる場がうれしくて感謝しています。自分に向き合う時間も機会ももてていなかったので、久しぶりに良い時間を過ごせました。

「わたしらしく」働くを考える
ビジネス学部では、女性のしごと・雇用創出イベント「みんなで作る！未来のはたらきかた」を、2日間の日程で開催しました。まずはワークショップ形式で自分の「生きる中で大切にしている価値観」を見つめ直し、他の受講生がどんな価値観を大切にしているのかを共有。自分を見つめ、価値観の共有の中で得られた気づきをグループ

ごとに発表し、最後に「私はどんな風にはたらきたいのか」を一人ひとり発表しました。イベントには、京都市内からの受講生のほかに、小さな子どもたちの参加もあり、そのかわいさにいやさねながら、さまざまな受講生との交流を通して、自身に合った「はたらき」を考える機会になりました。

考えてみよう 地域経済の循環



アイデアを出し合う参加者

の京都橋大学経済学部准教授の小山大介氏は「経済は生活そのもの」と話し、与謝野町の地域経済分析報告書を私たちの生活に落とし込んでわかりやすく解説していただきました。講義のあとは、受講生が自由に自分のやりたい職業になり、経済循環を考えるワークショップを実施。小学生や高校生の受講生からは、給食や通学などの身近なところから、さまざまなアイデアがあふれていました。講座を通じて、「ヒト・モノ・カネ」の動きが生まれることを楽しく学ぶ機会になりました。

「与謝野町がもし20人のまちだったら」と題した地域内経済循環ゲームを開催し、小学生から大人まで幅広い年代の方が参加されました。「昨日の晩ごはん」を思い出すことから始まった講義では、食材の購入先や産地などに考えを巡らし、自身の消費を見つめ直すことから経済循環を体感。講師

【受講生の感想】
経済を「晩ごはん」というところから身近に感じることができた。
受講生の考え方・アイデアの違いが与謝野町の財産だと感じた。



● 図書カードを寄贈いただきました

3月10日、国際ソロプチミスト宮津（会長・小牧弘美氏）から「図書カード10万円」を寄贈いただきました。

この寄贈は、同団体の設立45周年を記念し子育てや子どもたちを支援するめ、「図書の購入にあててほしい」との考えから行われたものです。図書館では絵本や児童書、大人数でも読み聞かせができる大型の絵本を購入し、皆さんに利用していただく予定です。この度のご寄贈、まことにありがとうございました。



国際ソロプチミスト宮津の皆さんと矢野館長（左から2番目）

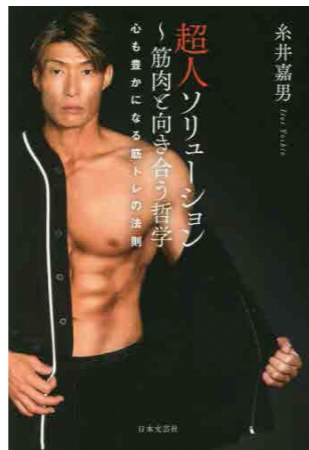
● 与謝野町出身の「あの人」の本が入りました！

『超人ソリューション 筋肉と向き合う哲学』

心も豊かになる筋トレの法則』

糸井嘉男／日本文芸社

与謝野町出身で、昨年惜しまれつつ現役を引退した元プロ野球選手の糸井嘉男さん。糸井さんは「超人」と呼ばれた肉体をどう鍛え上げていったのか。そのトレーニング方法を紹介するとともに、現役時代のエピソードも振り返ったファン必読の1冊。



今月の新着図書

●『安倍晋三回顧録』 安倍晋三／中央公論新社 ●『カリスマ保育士てい先生の子育てのみんなの悩み、お助け中！』 てい先生／ダイヤモンド社 ●『北欧で見つけた気持ちが軽くなる暮らし』 桑原さやか／ワニブックス ●『東大に名探偵はいない』 市川憂人／KADOKAWA ●『不思議カフェ NEKOMIMI』 村山早紀／小学館

●『くすのきだんちのひ・み・つ』 武鹿悦子／ひかりのくに ●『てをつなぐのだいすき』 きむらゆういち／偕成社 ●『ロボットは泣くのか？』 佐藤まどか／講談社 ●『大雪のサバイバル』 ポドアルチング／朝日新聞出版 ●『未来の給食、なに食べる？』 楠木誠一郎／講談社 ●『だれもみえない教室』 工藤純子／講談社 ●『そつえんセブン』 もとしたいづみ／世界文化ワンダークリエイト

おはなし会を開催します

【野田川分室】 4月22日（土）
【本館】 5月6日（土）
【加悦分室】 5月13日（土）
※ 3会場とも午前10時30分から



住所変更などは図書館へ連絡をお願いします

初めて図書館で本を借りるときは「利用登録」が必要です。身分証明書（マイナンバーカード、運転免許証など）をお持ちのうえ、図書館まで申し込みください。なお、利用者カードを紛失した場合には、150円の再発行料がかかります。

● 問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎46-2451 加悦分室 ☎43-0376 野田川分室 ☎43-0087
● 開館時間／午前10時～午後6時 ● 休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）

皆

皆さん、こんにちは。橋立中学校ALTのピーターです。去年の夏に与謝野町に来町してから半年以上が経過しました。

今回、与謝野町で過ごす初めての冬には、多くの雪とともにさまざまなことを経験しました。私の住んでいたアメリカ合衆国のヴァージニア州は、大西洋に面した東側に位置しています。大西洋に面しているという点で、比較的温暖な気候ではありますが、冬には雪が降ることもあります。

しかし、与謝野町と比べると雨や雪が降ることは珍しく、与謝野町の「うらにし」にはなかなか慣れません。また、雪が降ること自体が珍しく、雪の予報となると町中が大混乱になります。住民はすべての道路に融雪剤をまき、学校はすべて休校になります。天気予報は必ず当たるわけではないため、当日雪が降らなかつたときは、学校はそのまま休校となり、少し得した気分になることも多くありました。与謝野町では雪が降ったとしても少しの雪では休

校にならず、子どもたちが元気に雪道を歩いて通学する姿を見て、とても驚きました。私はヴァージニア州のほかにボストン市、オランダにも住んでいたことがありますが、どこも共通して平坦な土地であり、与謝野町のように美しい山々を今まで見たことがありませんでした。紅葉の時期ももちろん美しいですが、雪が積もった後の山々の美しさには心が打たれました。このような美しい光景を日常的に見られることはとても貴重な体験であり、そのことを思うと寒く厳しい与謝野町の冬もよいなと思います。



日本の雪山は本当に美しいですね！

これからも与謝野町の広大な自然からなる美しい景色を楽しみながら、頑張っていこうと思います。

時の贈り物

[第126回 与謝野の氏神祭り② 江戸時代から続く加悦の天満神社の神輿渡御]

加

悦の天満神社は加悦・算所両地区の氏神で、神輿は両地区内を渡御します（神輿の巡行を「渡御」といいます）。掛け声は「ヨイサー」で、世話方の号令に追いかけて約40人の担ぎ手が一斉に声を上げます。号令が「ヨイッサツ」に変わると駆け足の合図です。重い神輿を大きく揺らして勢いよく進み、時に同じ所を何度も行ったりに来たりして、観衆を大いに盛り上げます。観衆から「ヨイッサツ」の声が上がることもあり、一体感に包まれます。

神輿渡御は2日間にわたりに行われます。初日の宵宮に天満神社境内の神輿堂から長い石段を下り、各所を巡り三河内地区に近い算所グラウンド北側の御旅所に到着。1泊した神輿は2日目の本祭で各所を練り歩いた後に、宵宮と逆の順路をたどって155段の石段を登り、神輿堂に戻ります。渡御に際して、神輿の前



宵宮に天満神社の石段を下りてくる神輿

をチリリン棒や大鈴といった鳴り物とともに、加悦区5町、算所区5町がそれぞれ一本ずつ出す轆十本が進みます。神輿が停まる際に、これらの轆はまとまって立て掛けられますが、宵宮と本祭で並び順が異なります。算所の御旅所に向かう宵宮では算所が先に、天満神社の神輿堂に戻る本祭では加悦が先にと決められています。ここ3年は新型コロナウイルス感染症の影響で実施されていませんが、威勢よい「ヨイッサツ」の掛け声に地区が沸き立つ神輿渡御の再開が望まれます。（与謝野町教育委員会）

わたしはココにいます!!

令和5年度の全職員の配置をお知らせします。なお、機構改革を行ったため、前所属は記載していません。

役場

【本庁舎】

1階
総務課
439010

- 課長 柴田 勝久
- 主幹 芦田 侑祐
(京都府から派遣)
- 主幹 池田 浩樹
- 課長補佐 中田 秀樹
- 係長 田村 尊彦
- 主任 梅田 聡史
- 主任 松井 陽一
- 主任 大江 伸和
- 主任 安田 光樹
- 主任 園田 研斗
- 主任 坂根あゆみ
- 主任 安達 希美
- 主任 中村 達郎
- 主査 加藤 昌孝
- 主査 伊達 隆宏
- 主査 永井 大地
- 主事補 木村佳那子
(新規採用)

●財産活用・契約室

- 室長 細井 義文
- 主任 中村 有希
- 主任 多賀野芳則

●派遣

- 文化庁
- 主事 山崎 初盟
- 京都府
- 課長 小室 光秀
- 主事 小西 峻平
- 京都府地方税機構
- 課長 小牧 伸行
- 主任 白敷 勝也
- 宮津与謝環境組合
- 課長補佐 和田 直樹
- 海の京都DMO
- 主任 井田 拓磨

●会計課
439013

- 課長 安田 敦
- 課長補佐 堀場理恵子
- 主任 金谷 景子

●企画財政課
439015

- 課長 山口 崇
- 課長補佐 成毛 克明
- 主任 廣野 智史
- 主任 井上 朱里
- 係長 渡邊 稔之
- 主任 松本 潤也
- 主任 廣谷 章彦
- 主任 谷口 貴章
- 主任 秦 弘記
- 主任 小谷 文
- 主査 平野 公規
- 主査 本田 智宏
(暫定再任用)
- 主査 吉本 萌
- 主事補 白須 月菜
(新規採用)

●福祉課
439021

- 課長 田辺 茂雄
- 主幹 芳賀 和代
- 主幹 西原 誠
- 係長 藤原 誠
- 係長 志賀 伸之
- 係長 田中 百絵
- 係長 小西 隆博
- 主任介護支援専門員
- 本田奈都子
- 主幹補佐 小山 佳子
- 主幹補佐 今田 祐里
- 主任 藤井 彩
- 主査 下川 賢司
(暫定再任用)

●保健課
439022

- 課長 矢野 彰男
- 主幹 青山 潤子
- 主幹 和田 吉平
- 課長補佐 安田雄一郎
- 係長 小西衣都子
- 係長 金谷 信康
- 主任 西村 彰洋
- 主任 奥野 眞敏
- 主任 中村 愛
- 主任 荒木 春菜
- 保健師 小巻 千晶
- 保健師 足達 友佳

●2階
●農林環境課
439023

- 課長 三田 大智
- 主幹 上田 誠
- 主幹 杉本 政也
- 課長補佐 岡本 仁
- 課長補佐 引野 浩明
- 係長 落合 久志
- 係長 牛田 竹史
- 係長 岩間 智昭
- 主任 田中 和恵
- 主事 森岡 佳祐
- 主事 植田悠太郎

●産業観光課
439012

- 課長 市田 桂一
- 主幹 大上 寛起
- 主幹 塩見 雅樹
- 係長 井戸本大輔
- 係長 井上 公章
- 主任 妹尾由紀子
- 主査 荒木 拓哉
- 主査 糸井慎太郎
- 主査 西原 康平
- 主事 矢野 聖菜

●建設課
439014

- 課長 柴山 進
- 主幹 岡本 重幸
- 課長補佐 長島 裕一
- 課長補佐 杉本真由美
- 課長補佐 倉田 健史
- 係長 山本 剛
- 係長 後藤 周作
- 係長 由利慎太郎
- 主任 谷山 邦宏
- 主任 釣田 好基
- 主査 藤垣 浩一
(暫定再任用)
- 主査 谷口 裕城
- 主査 大江 勇人
- 主事補 田村 彪剣
(新規採用)

●【加悦庁舎】
1階
●住民税務課
439020

- 課長 吉岡 素子
- 主幹 前田留美子
- 課長補佐 山口 周作
- 係長 本田実佐子
- 係長 浪江 真理

●国民健康保険診療所
4333601

- 看護長 伊達 美雪
- 看護長 上田 充弥
- 看護長 康海
- 看護師 坂根みちよ
(暫定再任用)
- 看護師 山根 彩加
- 看護師 西田三知江

●子育て応援課
439024

- 課長 坪倉 由貴
- 課長補佐 半海 大輔
- 係長 小西 哲夫
- 主任 金谷恵衣子
- 主任 伊藤 真美
- 主任 百鳥 朋子
- 主査 細見 厚子
(暫定再任用)

- 主査 牛田 睦美
(暫定再任用)
- 主査 前野みゆき
(暫定再任用)
- 主査 浪江 昭人
(暫定再任用)
- 主査 香山 優子
(暫定再任用)
- 主査 三野 真穂
- 主査 橋本 遥
- 主査 塩見知佳子
- 主査 相見 侑那
- 主査 小林 柚里
- 次長補佐 中上 伸午
- 事務課長 片西 健太
(新規採用)
- 課長補佐 吉田 達雄
(暫定再任用)
- 主任 堀口 義雄
- 主任 田中 栄輔
- 主任 由利 景子
- 主任 加畑 達也
- 主査 西脇 公人

- 主幹 加藤 晴彦
- 主幹 大江 聡
- 係長 竹下 浩一
- 係長 井崎 洋之
- 主査 谷原 春加
- 主査 田中 結人
- 学芸員 清原 啓護
- 知遊館
462451
- 係長 瀬戸真由美
- 3階
●議会事務局
4436027
- 局長 前田 昌一
- 局長補佐 坂根加奈子
- 主任 後藤麻貴子
- 1階
●【野田川庁舎】
●防災危機管理対策室
4436011
- 室長 楠 敏幸
- 主査 小西 勝歩
- 主事 藤理 勝春

- 上下水道課
439001
- 課長 赤西 秀幸
- 主幹 榎 幹明
- 課長補佐 大門 洋
- 課長補佐 坂根 豊
- 課長補佐 山崎 友裕
- 課長補佐 浪江 和徳
- 係長 大上 知子
- 係長 石倉 康智
- 主任 吉岡 弘人
- 主任 山口 高平
- 主任 倉橋 雄大

- 学校給食センター
427206
- 所長 増田 靖彦
- 課長補佐 山田 智之
- 調理員 上田 卓巳
- 調理員 吉田 忠宏
- 調理員 長島 和泰
- 調理員 千賀 亘
- 調理員 藤田みゆき
- かえりこども園
462026
- 園長 和田マリ子
- 副園長 加畑 志保
- 園長補佐 井上 和美
- 主任 西嶋 郁子
- 主任 市田 朋子
- 主任 藤村 美香
- 主任 早瀬 杏美
- 主任 大松 徳喜
- 主任 岩根 玲佳
- 主任 土江 知里
- 主任 角野 香織
- 主任 小池 優花
- 主任 安田 弥生

- のだがわこども園
423609
- 園長 森津 清美
- 副園長 平林亜紀子
- 主任 松森 文子
- 主任 青木あゆ美
- 主任 友次さゆり
- 主任 上山 晃平
- 主任 古賀 麻衣
- 主任 竹原 七緒
- 主任 上野 知美
- 主任 本田 佳帆
- 主任 小巻 智栄
- 主任 倉橋真奈美
- 主任 山添有紀子
- 山田保育所
4236010
- 所長 堀口 美佳
- 課長補佐 梅田智奈美
- 主任 綾美
- 主任 糸井裕実子
- 主任 夏希
- 主任 羽淵 彩代
- 主任 吉田千代野
- 石川保育所
4236011
- 所長 平池 理香
- 課長補佐 中瀬知英美
- 主任 白数 聖子
- 主任 羽川友梨香
- 主任 上野 耕平
- 主任 豊嶋 愛織
- 主任 若野 千晶
- 主任 山崎 妙美

- 加悦中学校
浪江 謙
- 岩滝小学校
国屋 和秀
(暫定再任用)

- 退職者
(2023年3月31日付)
- 長島 栄作 (総務課長)
- 小池 大介 (企画財政課長)
- 藤垣 浩一 (防災安全課長)
- 平野 公規 (保健課長)
- 下川 賢司 (子育て応援課長)
- 山添 雅男 (上下水道課長)
- 植田 弘志 (社会教育課長)

- 水口 淳子 (保健課主査保健師)
- 坂根 みちよ (国民健康保険健康診断所長)
- 東 牧子 (福祉課主幹)
- 須田 美鈴 (住民環境課課長補佐)
- 高橋 愛 (商工振興課主事)
- 彦坂 裕香 (石川保育所主事)
- 岡井 裕子 (山田保育所主任保育士)
- 上辻 佳苗 (かえりこども園保育教諭)
- 国屋 和秀 (岩滝小学校調理員)
- 今井 康夫 (再任用任期満了)



与謝野町マスコットキャラクター「まめっこまいちゃん」



織物業に関する
支援のご案内

— 補助金をご活用ください —

与謝野町の主要産業でもある織物業およびその関連産業の振興と発展を図るため、事業者が行う生産基盤の整備や事業に関する前後工程などの内製化を図る取り組みに対して支援します。

織物業生産基盤を支援する 4 つの補助金

補助金の名称	補助率	補助金額
織物業生産基盤支援事業補助金	3分の1以内	上限額 (100万円) 下限額 (10万円)
織物業生産設備広幅化支援事業補助金	2分の1以内	上限額 (250万円) 下限額 (10万円)
織物業内製化支援事業補助金	【ハード】 2分の1以内 【ソフト】 4分の3以内	【ハード】 上限額 (200万円) 【ソフト】 上限額 (50万円)
織物業小規模生産基盤支援事業補助金	3分の1以内	上限額 (10万円未満) 下限額 (1万円)

▶ 申請受付期間

5月31日(水)まで ※各補助金の重複申請はできません

▶ 補助対象期間

原則、令和6年1月31日(水)まで



問・申 産業観光課

☎ 43-9012 / FAX 46-2851
メール sangyokanko@town.yosano.lg.jp

補助金の詳細は、
町ホームページを
ご覧ください ▶



① 織物職人養成プログラムの様子
② 織技センター内に並ぶ手機
③ この白い看板が目印です



織 物の産地として
り手(職人)を育む
物技能訓練センター

— 織物技能訓練センター(以下、「織技センター」とは) —

織物の座学から織機(力織機・手機)の基本的な動かし方まで、基礎からしっかりと学ぶことができ、織物未経験者でも機場で即戦力として働くことができるように学べる施設です。

▶ 織機の利用 — Use —

一定の知識がある方は、以下の料金を織機を利用できます。ただし、原則、営利目的では利用できません。

— 利用料金 —

【力織機】 200円
【手機】 100円
【準備機】 100円

※ いずれも1時間あたりの料金

— 織機台数 —

【津田駒製シャトル織機】 4台
【レピア】 1台
【手機】 18台 ※小幅・広幅含む
【整経機】 1台

▶ 織物職人養成プログラム — Program —

織物に関する座学から織りの工程までを理解できるようになるまで受講できます。

【町内の方】 5,000円/プログラム

【町外の方】 1,000円/時間

※ 上記の料金は、令和4年度の1人あたりの料金
※ 受講時間の目安(力織機プログラムで約50~60時間程度)

▶ 技術指導者 — Technical Leader —



手機のプロフェッショナル
もろ りゅういちろう
茂籠 龍一郎 (写真左)

力織機のプロフェッショナル
おぜき まさみ
尾関 正巳 (写真右)

京都府伝統産業優秀技術者「京の名工」でもあり、60年もの間、手機職人として「つづれ織」を手がける。織技センターでは、手機の普及と担い手の育成に尽力している。

平成26年から担い手の養成を手がける職人。織機調整1級技能士の資格を持ちながら、織技センターの管理から力織機の指導に至るまで手広く行い、今までに約90人の職人を養成してきた。

与謝野町織物技能訓練センター

(所在地/与謝野町字四辻 515 番地 1)

開館時間 午前9時 ▶ 午後5時

(土日および祝日、年末年始を除く)

問・申 施設や利用に関すること
産業観光課 ☎ 43-9012

織物職人養成プログラムの受講に関すること
織物技能訓練センター ☎ 42-2527



学童保育所に電化製品などを寄贈いただきました

宮津ライオンズクラブ結成 60 周年記念事業

☎ 社会教育課 ☎ 43-9026



寄贈いただいた玩具（一部）

宮津ライオンズクラブ（会長・三野孝行氏）から、多くの子どもたちが放課後や夏休みなどを過ごす学童保育所に、多数の電化製品や玩具などを寄贈いただきました。この寄贈は、同クラブ結成60周年記念事業として行われたもので、3月16日に開催された記念式典において、本町に対し目録が贈呈されました。

町内にある6カ所の学童保育所では、早速、子どもたちが寄贈いただいた玩具などで楽しい時間を過ごしています。これからも多くの子どもたちが楽しめるよう、大切に使用していきます。この度の寄贈、まことにありがとうございます。

宮津与謝環境組合からのお知らせ

～宮津与謝環境組合議会の結果について～

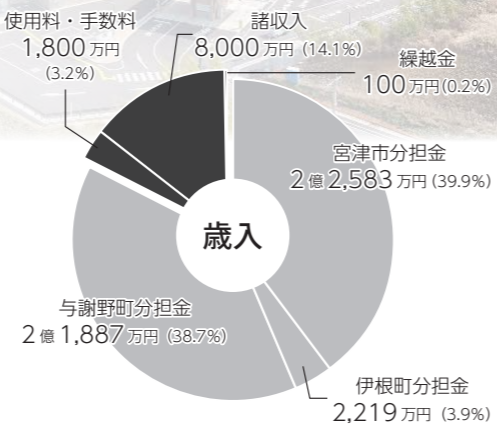
宮津与謝環境組合は、1市2町（宮津市、伊根町、与謝野町）から排出されるごみを宮津与謝クリーンセンターにおいて、できる限り資源化、減量化を図りながらごみ処理を行っています。

当組合に関連して、令和5年第1回宮津与謝環境組合議会が2月21日に開催され、提出しました6議案が同意、可決されましたのでお知らせします。

☎ 宮津与謝環境組合 ☎ 46-2111

令和5年度一般会計予算の内訳

【歳入・歳出総額】5億6,590万円



提出議案の同意および可決状況

- 監査委員の選任について … 【同意】
- 公平委員会委員の選任について … 【同意】
- 宮津与謝環境組合議会の個人情報の保護に関する条例の制定について … 【可決】
- 宮津与謝環境組合個人情報保護法施行条例の制定について … 【可決】
- 令和4年度宮津与謝環境組合一般会計補正予算(第2号) … 【可決】
- 令和5年度宮津与謝環境組合一般会計予算 … 【可決】

項目	金額
じん芥処理費	5億2,162万円
総務費	4,090万円
議会費	17万円
公債費	20万円
予備費	300万円

※ 千円未満を切り捨てしているため、各項目の合計が一致しない場合があります

与謝野町クラウドファンディング型ふるさと納税活用事業を募集します

令和5年度

■ 事前相談期間
4月24日(月)～5月31日(水)

■ 申請期間
6月1日(木)～16日(金)

【募集事業】ビジネスチャレンジ事業・地域づくり事業

与謝野町では、豊かな社会や持続的な地域経済の実現と町民が生き生きと安心して暮らし続けることができるまちづくりの推進のため、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した「与謝野町クラウドファンディング型ふるさと納税活用事業」を募集します。

■ 事業のスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	■ 交付決定			■ 補助金支払い	
									1月	2月	3月	4月	5月
■ 制度案内 ■ 事前相談 ■ 事業募集			■ 事業承認 ■ ウェブサイト掲載 内容の調整			■ 寄附募集			■ 事業完了 ■ 実績報告 ■ 完了検査			■ 補助金支払い	
制度の案内		事業計画の申請受け付け	承認通知 事業計画の審査	補助金交付申請(事前着手)		広報(町ホームページ掲載、報道機関へのプレスリリースなど)	情報発信 事業進捗の確認		補助金交付決定		補助金の額確定 事業完了および実績報告	補助金の請求	補助金の交付
← 事前相談 →			← 返礼品登録 募集ページ作成 →			← 寄附募集期間 →							

※ 事前相談を受けられた事業者の方、申請を検討している事業者の方を対象に、クラウドファンディングの相談・説明会を5月中旬に開催予定です。

- ビジネスチャレンジ事業
産業観光課 ☎ 43-9012
- 地域づくり事業
企画財政課 ☎ 43-9015



令和4年度の実績は町ホームページからご覧ください

② 月入札結果 …… ☎ 総務課 ☎ 43-9010

入札日	工事等の名称	場所	業者数	落札業者名	予定価格 (千円/税抜)	最低制限 価格 (千円/税抜)	落札金額 (千円/税抜)	落札率 (%)	期間
2/6	公共樹設置◎工事	石川地内	11者	株式会社井田建設	1,549	1,384	1,384	89.35	R5/2/14 ～3/15
2/17	旧職業会館解体工事設計監理業務委託	岩滝地内	9者	有限会社一級建築士事務所 コア建築事務所	2,544	—	2,500	98.27	R5/2/23 ～9/30

訂正とお詫び

広報よさの3月号(No.205)において、誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

【訂正内容】

P19「グラウンド・ゴルフ場」の休館日。正しくは、12月～2月です。

与謝野町役場本庁舎

総務課 ☎ 43-9010
産業観光課 ☎ 43-9012
会計課 ☎ 43-9013
建設課 ☎ 43-9014
企画財政課 ☎ 43-9015

加悦庁舎

住民税務課 ☎ 43-9020
福祉課 ☎ 43-9021
保健課 ☎ 43-9022
農林環境課 ☎ 43-9023
子育て応援課 ☎ 43-9024
教育委員会 学校教育課 ☎ 43-9025
教育委員会 社会教育課 ☎ 43-9026
議会事務局 ☎ 43-9027
総務課 (CATV 担当) ☎ 43-9028

野田川庁舎

総務課 (防災危機管理対策室) ☎ 43-9011
上下水道課 ☎ 43-9031

功績・功労をたたえて

● 与謝野町自治功労者表彰

宮崎有平さん(岩滝)は、平成22年4月に与謝野町議会議員に初当選されて以来、12年10カ月の長きにわたり在職され、その間、総務文教厚生常任委員会委員長、副議長を歴任され、令和4年5月から議長に就任されています。



和田裕之さん



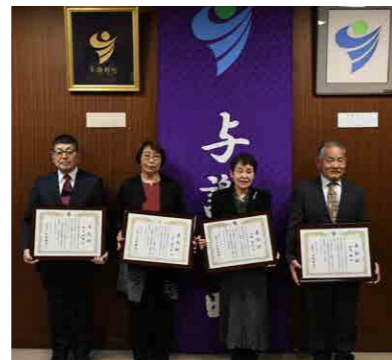
宮崎有平さん

和田裕之さん(石川)は、平成22年4月に与謝野町議会議員に初当選されて以来、12年10カ月の長きにわたり在職され、その間、議会広報特別委員会委員長、副議長を歴任され、令和4年5月からは、産業建設環境常任委員会委員長に就任されています。

お二人は、それぞれ町政と自治振興の発展に多大な貢献を果たされたとともに、現在も与謝野町議会議員としてご活躍されておられます。この功績をたたえ、3月15日、役場加悦庁舎議場において、与謝野町自治功労者表彰が授与されました。長年のご尽力に対し、心より感謝申し上げます。

● 与謝野町特別職員表彰

安田勝さん(加悦)、矢野幸子さん(金屋)、三宅美千子さん(下山田)、四宮功雄さん(男山)におかれましては、12年以上の長きにわたり民生児童委員を務められ、町の行政推進と住民福祉の向上に大きな貢献を果たされました。この功績をたたえ、3月20日、役場本庁舎において、与謝野町特別職員表彰が授与されました。長年のご尽力に対し、心より感謝申し上げます。



四宮さん、三宅さん、矢野さん、安田さん(左から)



人権の花運動を実施しました

人権の花運動感謝状贈呈

☎ 43-9020



きれいな花を咲かせるスイセン

3月14日、町・法務局・人権擁護委員で構成する丹後・中丹人権啓発活動地域ネットワーク協議会から、加悦小学校に人権の花運動感謝状と記念品が贈られました。昨年10月に3年生43人が球根を植え付け、友だちと協力しながら育ててきた人権の花「スイセン」は、きれいな花を咲かせていました。この運動は、児童が協力し花を育てることを通して、協力することの大切さや生命の尊さを実感し、優しさと思いやりの心を体得することを目的に実施しています。



■ 営業期間 午前9時～午後5時
■ 定休日 12月31日
☎ 43-0390

今月のおでかけスポット

道の駅シルクのまちかや

～ 地元的新鲜野菜と特産品がせいぞろい～

与謝野町産の野菜と特産品を取りそろえている「道の駅シルクのまちかや」。道の駅に並ぶ野菜は、すべて地元の農家の皆さんが直接運び込んだ新鮮な野菜。皆さんに安心して購入していただくため、顔つきで生産者を紹介するPOP(看板)を設置しています。特産品の地酒、ビール、シルク雑貨のほか、地元のお店の手作りパンや惣菜なども人



野田川親水公園の桜

気です。また、観光情報の提供も行っており、グルメや宿泊、交通などの情報提供に加え、近隣市町のパンフレットもとりそろえています。道の駅のすぐ近くにある桜の名所「野田川親水公園」では、3月下旬から4月上旬ころにかけて満開の桜を見ることが出来ます。道の駅で購入した品物を持って、ご家族や友人とお花見に出かけてみてはいかがでしょうか。

町内に配布している
広報誌には掲載しています

お悔やみ (敬称略)

町内に配布している
広報誌には掲載しています

おめでとうございます (敬称略)



・ まちのうごき ・
令和5年2月末現在
人 □ 20,128人 (-38)
男 9,632人 (-23)
女 10,496人 (-15)
世帯数 8,906戸 (-10)
※()内は住民基本台帳に基づく前月比
※外国人含む

※ この欄で紹介する出生とお悔やみは、2月16日から3月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届け出の際に希望された方のみを掲載しています。

i **祝日のごみ収集について(昭和の日)**

4月29日(土)は祝日ですが、平常どおりごみ収集を行います。お間違えのないようお願いします。
問 農林環境課 ☎ 43-9023

i **【完全予約制】休日・夜間のマイナンバーカード受け取り**

平日にマイナンバーカードの受け取りが難しい方は、ご利用ください。また、暗証番号の再設定・電子証明書の更新などの手続きについては、事前にご相談をお願いします。

《休日窓口》

日時 ■ 5月13日(土)、14日(日) 午前9時～午後1時
予約締め切り・・・5月11日(木)

■ 5月28日(日) 午前9時～午後1時
予約締め切り・・・5月25日(木)

《夜間窓口》

日時 毎週水曜日の午後6時半まで
予約締め切り・・・前の週の金曜日

受取場所

休日・夜間とも役場野田川庁舎
問 住民税務課 ☎ 43-9020

i **【マイナポイント】設定サポート休日窓口の開設**

マイナポイント(最大2万円相当のポイント)を受け取るためには、マイナンバーカードを受け取った後、ポイントの申し込みが必要です。

日時 4月22日(土) 午前9時から11時まで受け付け

会場 役場野田川庁舎

持ち物

■ マイナンバーカード

■ 4桁の暗証番号(マイナンバーカード受け取りの際に設定したもの)

■ 希望するキャッシュレス決済サービス(ご本人様名義)

※ 決済サービスID、セキュリティコード

■ 公金受取口座に登録する通帳(希望する方のみ。ご本人様名義)

注意事項

■ キャッシュレス決済によっては事前登録などが必要な場合がありますので、手続きを完了した状態でお越しください。

■ 順番にご案内しますので、時間に余裕をもってお越しください。

問 住民税務課 ☎ 43-9020

i **まちづくり人づくり補助金の申請受け付け**

対象者 町内で公益的な活動を行う団体(自治会、実行委員会、NPO、ボランティアサークルなど)
※ 5人以上の構成員を有し、その過半数以上が与謝野町民であること

対象事業

①コミュニティづくり事業

町内で実施する住民福祉、防災、文化、スポーツまたはコミュニティづくりのソフト事業

②コミュニティ施設整備事業

公民館や集会所の新築または増築など

③コミュニティ備品整備事業

公民館や集会所で使用するコミュニティ活動に資する備品整備

補助率・上限額

①5万円以上、補助率2分の1以内(補助金限度額:30万円)

②20万円以上、補助率3分の2以内(補助金限度額:200万円)
※ 自治総合センター助成事業に採択された場合を除く)

③10万円以上、補助率3分の2以内(補助金限度額:30万円)

事業実施期間 4月1日(土)から令和6年3月31日(日)までの間に実施し、完了するもの
問・問 5月31日(水)までに、必要書類を添えて企画財政課(☎43-9015)へ。

i **第26版与謝野町バス・鉄道時刻表の訂正**

掲載内容に誤りがありました。以下のとおり訂正しお詫びします。
P6「丹鉄・JR列車乗り継ぎ早わかり表」
大阪方面◀上り> 与謝野駅発6時18分発の便(大阪駅着9時26分、新大阪駅着9時32分)を削除
問 企画財政課 ☎ 43-9015

募 **与謝野町文化協会視察研修事業の参加者募集**

日時 5月14日(日) 午前8時～午後6時半(予定)

行き先 兵庫県丹波篠山市(篠山城大書院、武家屋敷資料館、柏原藩陣屋跡・歴史民俗資料館など)

募集対象 文化協会員20人、町民の方(高校生以上)20人

※ 希望者が定員を超えた場合、抽選を行い参加者を決定します

参加費 3,500円/1人(昼食代・入館料・保険料等 ※当日徴収)

問 4月20日(木)までに、参加申込書を加悦地域公民館・知遊館・中央公民館のいずれかへ。なお、参加申込書は上記の公民館にあります。

問 社会教育課 ☎ 43-9026

i **マイナンバーカードの一部手続きの停止**

4月29日(祝)から5月7日(日)まで、全国的な公的個人認証システムの更改作業のため、以下の日程で役場窓口におけるマイナンバーカード(以下、「カード」)の業務が停止します。

日程 5月1日(月)、2日(火)

窓口でできない手続き

■ 電子証明書の発行、失効および更新

■ 暗証番号のロック解除および初期化

※ ただし、停止期間中でもカードの受け取りなど、一部の手続きは可能です

問 個人番号カードコールセンター ☎ 0570-783-578

募 **第41回京都府女性の船の参加者募集**

実施時期

【研修】6月2日(金)～5日(月)3泊4日

【事前研修】5月20日(土)

【事後研修】7月上旬の土曜日

行き先 北海道

参加費 38,000円程度

問 4月21日(金)までに、住民税務課(☎43-9020)へ。

※ 申込書は役場各庁舎住民係にあるほか、京都府ホームページからダウンロードで府ホームページからダウンロードできます

問 京都府男女共同参画課

☎ 075-414-4291



令和5年度の納期 — 期限までに納付をお願いします —

税目	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	納税通知書の送付日
町民税 府民税	普通徴収	6/30 (金)		8/31 (木)		10/31 (火)			1/31 (水)			6月中旬
固定資産税	5/31 (水)		7/31 (月)		10/2 (月)			12/28 (木)				5月中旬
軽自動車税	5/31 (水)											5月中旬
国民健康保険税		6/30 (金)	7/31 (月)	8/31 (木)	10/2 (月)	10/31 (火)	11/30 (木)	12/28 (木)	1/31 (水)	2/29 (木)	4/1 (月)	6月中旬 ※納付書は毎月送付

納付方法

■ **町府民税・固定資産税**

町府民税は6月に、固定資産税は5月に1年分(各4枚)の納付書をまとめて送付しますので、なくさないようにしてください。一括納付の方は、4枚の納付書を使って納付してください。

■ **国民健康保険税**

口座振替以外の方は、納付書を毎月送付します。一括納付の方は、一括用納付書を使って納付してください。

■ **納期は月末です**

各税目とも納期は月末ですが、その日が土日祝日の場合はその翌日となります。納期を過ぎると督促状

を送付することがありますので、期限までに納付をお願いします。

■ **納期を過ぎると延滞金が課されます**

納期限を過ぎてから納付した場合、納期限の翌日から完納の日までの日数に応じて、年8.7%の割合を乗じて計算した延滞金を課することになります。
※ 納期限の翌日から1ヵ月を経過する日までの期間については年2.4%です。ただし、これらの割合は毎年変動します

問 **【町民税・固定資産税・軽自動車税】**

住民税務課 ☎ 43-9020

【国民健康保険税】 保健課 ☎ 43-9022

分譲宅地を販売しています



与謝野町では、定住を促進することにより地域の活性化を図るため、分譲宅地を販売しています。購入や見学をご希望の方は、建設課までお問い合わせください。 **問** 建設課 ☎ 43-9014

■ **対象** 3年以内に居住用の建築物を建て、居住をする方

■ **分譲宅地** 日吉ヶ丘団地(明石)・・・残り9区画

寺田団地(算所)・・・残り1区画

福井小井根団地(加悦)・・・残り3区画

※ 販売価格および申込資格は町ホームページ(右上の二次元コード)をご覧ください

■ **申込方法** 町ホームページまたは建設課(役場本庁舎)にある申込書に必要事項を記入の上、必要書類を添えて建設課へ。



まちの話題お届けします

● みんなでカキ殻拾う Day

学生とともに阿蘇海をきれいに

2/26 特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA) と阿蘇海環境づくり協働会議による「みんなでカキ殻拾う Day」が阿蘇海沿岸で実施されました。

小雪が舞う寒さの中、ボランティア学生・地元団体関係者約 30 人が参加し、堆積するカキ殻約 1.3 トンを回収。回収したカキ殻はごみとして捨てるのではなく農地に散布するなど、山・川・海が連なる与謝野町で回収したものを大地に還元する「自然循環」の取り組みとなりました。今後も阿蘇海環境改善に向けた取り組みを進めていくため、8 月にも同協会の協力のもと実施される予定です。



阿蘇海に流れ込む水路で作業する学生たち

● 与謝野町の環境未来 2023

身近なことからエコを考える



環境クイズに答える来場者

3/5 与謝野町の環境保全や地球温暖化防止対策の一環として、一緒に交流しながらエコについて考える啓発イベント「与謝野町の環境未来 2023 [主催/よさの百年の暮らし委員会 (愛称: みらいふ)]」が、加悦谷ショッピングプラザウイルで開催されました。

当日は約 100 人の来場者があり、エコ縁日・発電体験・環境クイズ・グリーンカーテン相談・啓発パネル展示の各ブースを親子で回り楽しむ様子や笑顔が見られ、環境問題を考える良い機会となりました。

● ちりめん街道ひなめぐり 2023

街道を彩るお雛様



ちりめん街道内の民家に飾られたお雛様を見学する来場者

3/4 重要伝統的建造物群保存地区「ちりめん街道」において、街道内の民家などに飾られたお雛様を見て回る「ちりめん街道ひなめぐり 2023 (主催/ちりめん街道を守り育てる会)」が 3 年ぶりに開催され、多くの来場者でにぎわいました。

旧尾藤家住宅 (府指定有形文化財) や民家など約 20 軒では、各家々で大切に受け継がれてきた歴史あるお雛様に併せて、丹後ちりめんの晴れ着や西陣織の帯なども展示。また、飲食や物販、体験が楽しめる「街道マルシェ」も同時に開催され、来場者は晴天の下、お雛様と飲食を楽しみながら街道を巡っていました。

● てつじの「米から日本酒を造る」

与謝野町の水で造る日本酒

漫才コンビ「シャンプーハット」のてつじさんが企画する「米から日本酒を造る 2023」。田植え・稲刈りは東大阪市で行われましたが、日本酒の仕込み・絞りは、与謝娘酒造 (与謝) さんで行われました。与謝野町有線テレビでは、仕込み・絞りの工程を密着取材させていただきました。その様子を町公式 YouTube チャンネル (下記の二次元コード) で公開していますので、ぜひご覧ください。



有線テレビの取材を受けるてつじさん

